

認証評価結果に対する改善報告書（1）

平成30年7月20日

1. 大学名：吉備国際大学

2. 認証評価実施年度：平成27年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○保健医療福祉学部理学療法学科の、収容定員に対する在籍学生数比率が極めて高くなっている点は、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

保健医療福祉学部理学療法学科の入学定員充足率は、平成26年度から平成29年度までの4年間では、平均1.36倍であった。これは、平成26年度と平成28年度において、合格者に対する入学者の歩留率の見込みを誤ったためであるが、いずれも翌年で調整している。

また、平成30年度の入学者は37名であったため、平成27年度から平成30年度までの入学定員充足率の平均は1.18倍となり改善を進めることができた。

さらに、収容定員充足率は、平成27年度が1.43倍であったが、平成29年度、平成30年度において入学者が40名前後と、調整できたことから、平成30年度の収容定員充足率は、1.23倍と減少しており、改善を進めることができた。【資料2-1-1】

今後も入学定員・収容定員に対する比率の適正な状況を維持するよう、努めていく。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

【資料2-1-1】 保健医療福祉学部理学療法学科の定員に対する在籍学生数比率の推移（5年間）

認証評価結果に対する改善報告書（2）

平成30年7月20日

1. 大学名：吉備国際大学

2. 認証評価実施年度：平成27年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部心理学科及び通信教育部心理学部子ども発達教育学科の、収容定員に対する在籍学生数比率がいずれも極めて低くなっている点は、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

《保健医療福祉学部 社会福祉学科》

本学科においては、入学生確保に向けた様々な取り組みをおこなうと共に、平成28年度には、入学定員の見直しをおこない、入学定員を50名から40名へと減員した。【資料2-1-1】

しかしながら、入学者については、平成28年度・29年度・30年度の直近の3年間で連続して10名未満という結果であった。【資料2-1-2】

以上のことを踏まえ、慎重に検討した結果、平成31年度から学生募集を停止することとした。【資料2-1-3】

本学科の学生募集停止については、在学生に丁寧に説明するとともに、受験生や社会に対して本学ホームページにて公表している。

《心理学部 心理学科》

本学科においては、入学定員の充足に向けての改善策として、平成28年度以降、通信制高等学校への訪問を強化した。これは説明会等で通信制高等学校の生徒が心理学科を希望し相談に来るケースが増加してきたためである。その結果、通信制及び高等学校卒業程度認定試験合格者からの入学者数は、平成29年度7名、平成30年度5名と平成28年度の3名から増えており効果が見られた。特に平成29年度においては心理学科入学者数が40名と改善されたが、平成30年度は29名という結果であった。【資料2-1-4】

以上のことを踏まえ、入学定員の見直しについて、慎重に検討した結果、平成31年度から入学定員を50名から40名へと減員することとした。【資料2-1-5】

また、今後の広報活動としては、新たな国家資格である公認心理師に対応している学科であることを強調し、就職に関しても心理学は汎用性のある学問であり心理職以外にも様々な職種に対応できる学問であることをPRしていく。

《通信教育部 心理学部 子ども発達教育学科》

通信教育部については、入学者の大半が社会人であるため、休日を利用した入学説明会などを開催しているところであるが、ここ数年の収容定員充足率は0.3倍程度と低い状態が続いている。【資料2-1-6】

改善の取組として、資格取得を目指す意欲的な社会人層をターゲットに訴求効果の高いインターネット広告を積極的に活用するとともに、入学説明会の回数や会場についても毎年増やしており、平成30年度からは、入学説明会に参加できなかった方々を対象にインターネットを利用した個別相談会も開催する予定である。【資料2-1-7】

また、スクーリング会場や科目単位認定試験の会場を増やすなど、学生の利便性の向上を図る取り組みもおこなっている。【資料2-1-8】

しかし、科目等履修生は一定数の入学者があるものの、正科生としての入学者の増加には繋がっていないのが現状である。【資料2-1-9】

今後も社会人を中心とした募集活動を、引き続き積極的におこない、さらに、福祉施設や保育園並びに高等学校の新卒にも幅広く広報活動をおこなうことで、正科生の入学者確保に繋げるよう努めるとともに、入学定員についての見直しも慎重に検討していく。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

- 【資料2-1-1】平成27年度学校法人順正学園第1回理事会議事録（抜粋）
- 【資料2-1-2】保健医療福祉学部社会福祉学科の定員に対する在籍学生数比率の推移（5年間）
- 【資料2-1-3】平成30年度学校法人順正学園第1回理事会議事録（抜粋）
- 【資料2-1-4】心理学部心理学科の定員に対する在籍学生数比率の推移（5年間）
- 【資料2-1-5】平成30年度学校法人順正学園第1回理事会議事録（抜粋）【資料2-1-3】と同じ
- 【資料2-1-6】通信教育部心理学部子ども発達教育学科の定員に対する在籍学生数比率の推移（5年間）
- 【資料2-1-7】通信教育部心理学部子ども発達教育学科の入学説明会一覧（5年間）及びインターネットを利用した個別相談会（平成30年度）
- 【資料2-1-8】通信教育部心理学部子ども発達教育学科スクーリング日程（5年間）
- 【資料2-1-9】通信教育部心理学部子ども発達教育学科の入学生・編入学生・科目等履修生数の推移（5年間）